

全この民主的室友の民選同ニ結集せよ。

諸反動法案粉碎! 文化追放・3.16三勝利! 田中内閣打倒!

八五(1)

2  
波

ラバス諸議院

山

NO.122

日本学生同盟

5/30

六月初旬、筑波法案未強行可決を狙う政府・自民党へ!

全系人の学友諸君。

国内外の諸君に反独占・反自民勢力敏速に決起に於て、小選舉区制新設した。これに付し、政府は、65日大内会議延長を施行し、新たにこの重要な反動法案の進行成立に焦点をしぼつている。

然るに反獨占判は、自公にむける「国鉄」「健保」「開拓」「防衛二法」「国土開発」「入管」などの一連の反動諸法案をめぐって全国討伐に入つてゐる。

田中内閣は、社会事件による中村議長辞任、増原防衛厅長官更迭及び未期的危機状態を呈してゐる。それにとなむらず、諸反動法案のチラじめとして、筑波法案との日初回、原宿で強行可決しようとしている。このうち田中は、諸反動法案成立にその政治生命をかけているが、その基盤はますます弱さがつてゐる。

筑波法案粉碎の祖占と踏まえ、大學の民主的改革

改革と推し進めるようす

筑波法案は、第一に教育研究機能の介離の確立、第二に参事会、副學長制の導入による管理支配強化、第三に、教官・学生の諸権利の剝奪、学生運動に対する露骨な弾圧までの内容としている。

これは、すでに今日多くの大学で中止審具体化の過程として進行してきしたものであり、このことは、前大3・16斗争の過程で官憲一体としてヒューリッククラス活動への介入として顕在化している。

筑波法案は、まさに中止審のひじ簡じ的裏負たの段階から更に一步を進め、政治問題化することである。従つて、筑波法案粉碎の斗争もまた、全国各大学へ波及するものであつて、全国の学生が、筑波法案に對する討論・討論・決議を集中して、筑波法案の実現を実現しよう。

筑波法案の国会通過を阻止し、大學の民主的改革——市大3・16斗争勝利を全てのクラス・学科ならの大衆的決起、団体意識統一で実現しよう。

筑波法案は、まさに中止審のひじ簡じ的裏負たの段階から更に一步を進め、政治問題化することである。従つて、筑波法案粉碎の斗争もまた、全国各大学へ波及するものであつて、全国の学生が、筑波法案に對する討論・討論・決議を集中して、筑波法案の実現を実現しよう。